アクションレポート VOL.29

小さな声を聴く力 声をカタチに!

久保 かずひろ 横浜市会議員（瀬谷区選出）

HP https://www.k-kubo.yokohama/ BLOG https://k-kubo.jugem.jp/

久保かずひろ政務活動事務所
代表 久保かずひろ
〒246-0031
横浜市瀬谷区瀬谷 1-20-7
真和瀬谷ビル II 102
Tel.045-298-6845
Fax.045-330-6151

順調なスタート! 妊婦と赤ちゃんを守る RSウイルス母子免疫ワクチンが無料に!

この４月から RS ウイルス母子免疫ワクチンが定期接種化され、多くの妊婦の皆さまが接種されています。妊婦が接種する母子免疫ワクチンは、お母さんから赤ちゃんへ抗体を届け、生後間もない乳児を重症化から守る有効な予防法です。

しかし、これまでは約 3.5 万円の自己負担が大きな課題でした。公明党は国と地方が連携し、早期の定期接種化を一貫して推進。横浜市議会でも私は、いち早く制度の導入を強く後押しし、2026 年４月から無料接種が実現しました。多くの妊婦の皆さまに活用されています。

4・5月の2か月で 約4,000件 の接種を実施

償還払い（里帰り出産等により） 申請件数 約230件（4～6月）

そもそも RSウイルス感染症とは…

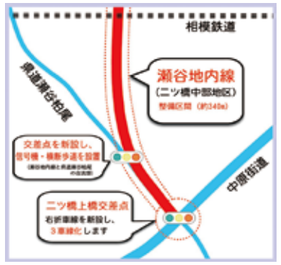
世界中に分布している RS ウイルスの感染によって引き起こされる呼吸器の感染症。2 歳までにほぼ全ての乳幼児が感染するとされている。

感染すると鼻水や発熱、せきなど風邪のような症状が続く→初めて感染した乳幼児の約 7 割は軽症で数日のうちに回復するが、**約３割は、せきが悪化し、重症化する恐れがある。**

二ツ上橋交差点改良（瀬谷地内線事業）が前進! 右折レーンを新設し3車線化

これまで議会で取り上げてきた二ツ上橋交差点の改良が進みます。現在の直進車線に加え、右折車線を新設し３車線化。あわせて、瀬谷地内線と県道瀬谷柏尾の合流部を新たな信号交差点とすることで、安全性の向上と交通の円滑化を図ります。交差点の改良は、GREEN×EXPO 2027 の開催までの完成を予定しています。

この事業は、瀬谷地内線（二ツ橋中部地区・2029 年３月完成予定）として、相鉄線で分断された地域を結ぶ延長約 340m の都市計画道路を整備するものです。歩道が狭い県道瀬谷柏尾踏切への交通集中を緩和し、歩行者の安全確保と慢性的な渋滞の改善を進めます。



瀬谷地内線断面図

まちかどホットライン

●県道瀬谷柏尾道路を再整備

傷んだ舗装を新しくするとともに、白線や速度表示などの路面表示、また歩行者や自転車の安全確保を目的として、視認性の高い赤色ガードポールや反射板等を再整備し、安全性の向上が図られています。

(三ツ境自動車教習所付近～じゃじゃ麺の店舗付近の区間約300M)

●カーブミラー設置で、安心と安全を!

南台の瀬谷第二公園（ロケット公園）付近の交差点に、自治会と協力して設置。老人会や子育て世代等から、「車の往来が多く危険」との声を受けていました。

プロフィール ◆1973年11月生まれ、兵庫県神戸市出身 ◆神戸大学卒 ◆国際物流・貿易関係企業などを経て、再生可能エネルギー関連企業に勤務 ◆党神奈川県本部青年局次長、党瀬谷支部支部長 ◆横浜市会／GREENxEXPO みどり委員会 委員・特別市大都市行財政制度特別委員会 委員◆妻と長女、長男の４人家族 ◆R3・R4 年度 横浜市立原中学校 PTA 会長 ◆防災士

インスタグラム募集!!

民衆の声 ボイス No.116

公明党 横浜市会ニュース

Voiceよこはま

http://www.yhkomei.com/ E-mail:shikai@yhkomei.com 公明党横浜市会議員団 〒231-0005 横浜市中区本町6-50-10 TEL671-3023 FAX681-2060

子育て支援 さらに前進! ～長年の声をカタチに～

公明党が長年にわたり、一貫して推進してきた「子ども医療費の 18 歳まで無料化」と「市立中学校の全員給食」がついに実現！子育て世帯の安心と負担軽減が大きく前進しました。

子どもの医療費が18歳まで無料に!

（所得制限、一部負担なし、2026年6月から）

横浜市の小児医療費助成事業は、公明党が 1992 年に初めて乳幼児医療費の無償化を提案したことを契機として、1995 年に０歳児を対象にスタートしました。その後、対象年齢の拡大や所得制限の緩和を重ね、2023 年には中学 3 年生までの完全無償化を実現しました。その後も 18歳までの対象拡大を訴え、2025 年 8 月には市長への要望書を提出。翌月の議会で市長より 2026 年度内の実施方針が示され、後に６月から実施が決まりました。

公明党が一貫して取り組み、30 年以上積み上げてきた小児医療費助成事業が、ついに完成形を迎えました！

小児医療費助成の拡充へ

公明党市議団・34 年の歩み

1992 年	横浜市会で初めて無償化を提唱
1995 年	０歳児の通院・入院が無料に
2007～19 年	就学前児童→中学３年まで対象を拡大
2023 年	所得制限と一部負担を撤廃
2026 年６月	18 歳までの医療費を完全無償化へ！

市立中学校・全143校で全員給食実現!

横浜市は、本年 4 月から市立中学校全 143 校で全員給食を開始しました。教職員分を含め 1 日約８万1000 食を提供する国内最大規模の事業で、市内 6 工場で調理した給食を各校へ配送することで、温かい汁物を提供できる保温食缶の導入や、アレルギー対応食の提供も実現しました！

中学校給食の充実は、公明党・横浜市会議員団が約 30 年前から一貫して推進してきた取り組みです。弁当持参中心の時代から、業者弁当販売、ハマ弁、選択制デリバリー給食と段階的に改善を重ね、全員給食へと発展しました。生徒からは「ご飯や汁物が温かい」との声が上がり、食育や健康づくりの面でも期待が寄せられています。

引き続き、より美味しく、安心して食べられる中学校給食へ、さらなる改善を後押ししてまいります。

【金沢区・並木中学校】生徒による給食の配膳・喫食の様子を視察

暮らしと地域経済を守る！

～市民生活を支える実効性ある支援を推進～

【山中市長へ緊急要望】（市長へ要望書の提出）

5月20日 中東情勢の緊迫化による原油高・物価高から市民生活と地域経済を守るため、公明党横浜市会議員団は、市長へ実効性ある支援策を緊急要望しました！

市長から「さらに利用しやすい制度融資を、早急に実行できるよう検討する」との発言がありました。

■公明党の要望

- 中小企業の資金繰り支援
- 物価高対策
- 制度融資の充実
- 経営相談の強化

【実現した施策】

横浜市では、公明党横浜市会議員団の要望を受けて、中東情勢等による原材料価格の高騰や物流停滞の影響を受け、資金繰りに苦慮する市内中小企業を支援するため、**6月1日から「短期特別経営支援資金」を創設**しました。あわせて、**融資利用時の信用保証料を助成**し、事業継続を後押しします。

市営バスの運賃が変わります！

市営バスネットワークを維持するため、運賃を令和9年1月より改定予定

		現　行	➡ 改定後
普通券	大　人	220円	240円
	小　児	110円	現金 120円 IC　100円
定期券（1か月）	通　勤	9,900円	10,800円
	大人通学（中学生以上）	6,920円	6,920円（据え置き）
	小児通学（小学生以下）	2,230円	2,230円（据え置き）

タバコを吸う人も吸わない人も快適な街へ

市内全面禁煙化と喫煙所設置

2027年3月開催予定の横浜GREEN×EXPOに向けて、**屋外の公共の場所における喫煙全面禁止**へ条例を改正し、喫煙者と非喫煙者が共存できる環境づくりを推進中です。

- **分煙環境整備**　受動喫煙のない環境作り
- **喫煙所整備**　適正な場所へ喫煙所設置
- **重点地区指定**　特に配慮が必要な地区を指定
- **パトロール強化**　ルールの周知と過料の徴収

横浜初！ 舞岡八幡山しぜん公園に

本格スケートボード場を整備

観客席も備えた高水準のスケートボード施設

令和9年4月にオープン

東京オリンピック2020において、スケートボードが正式競技になったことを踏まえて、市内初となる本格的なスケートボード場が、舞岡八幡山しぜん公園に初心者から上級者まで利用できる施設として整備されます。

利用料金は安全管理に必要な経費を踏まえ設定し、子ども料金や割引制度も検討中。今後は体験会や大会開催、プロとの交流機会の創出などを進め、横浜のアーバンスポーツの新たな拠点を目指します。

政務活動最前線

【政策懇談会】現場の声を聴く！

6月12日から8月にかけて、福祉・教育・医療・建設・交通など約50の事業者や団体より現場の課題や要望をヒアリングしています。来年度の予算編成に向けて、皆様のお声をお届けし、改善に向けての提案をしてまいります。

横浜初！【横浜動物専門学校】ペット同室避難所が実現！

本年4月、横浜市と横浜動物専門学校が連携協定を締結し、横浜市初となるペット同室避難所が実現しました。これは、昨年、公明党横浜市会議員団が学校と市をつなぎ、協定締結を提案したものです。6月25日、団として避難所環境や学生によるペット支援訓練を視察し、飼い主もペットも安心して過ごせる避難所であることを確認しました。

令和8年度　新たな所属委員会が決定

■第62代副議長
尾崎　太（鶴見区）
●GREEN×EXPOみどり委員会 委員
●市民活躍・地域コミュニティ活性化特別委員会

■団長
斉藤　伸一（保土ケ谷区）
●福祉委員会 委員長
●特別市・大都市行財政制度特別委員会 委員

■副団長
望月　康弘（港北区）
●上下水道交通委員会 委員
●未来のまちづくり推進特別委員会 副委員長

■副団長
行田　朝仁（青葉区）
●経済港湾委員会 委員長
●次世代活躍推進特別委員会 委員

■政務調査会会長
安西　英俊（港南区）
●まちづくり委員会 委員
●減災対策推進特別委員会 委員
●神奈川県内広域水道企業団議会議員

■政務調査会事務局長
竹野内　猛（金沢区）
●福祉委員会 委員
●市民活躍・地域コミュニティ活性化特別委員会
●市会運営委員会 副委員長

■政務調査会事務局次長
木内　秀一（旭区）
●まちづくり委員会 委員
●次世代活躍推進特別委員会 委員
●市会運営委員会 委員
●神奈川県後期高齢者医療広域連合議会議員

仁田　昌寿（南区）
●総務委員会 委員
●特別市・大都市行財政制度特別委員会 副委員長

福島　直子（中区）
●こども教育委員会 副委員長
●基地対策特別委員会 委員

髙橋　正治（緑区）
●こども教育委員会 委員
●減災対策推進特別委員会 委員長

竹内　康洋（神奈川区）
●総務委員会 副委員長
●減災対策推進特別委員会 委員

中島　光徳（戸塚区）
●市民消防委員会 副委員長
●未来のまちづくり推進特別委員会 委員
●神奈川県後期高齢者医療広域連合議会議員

久保　和弘（瀬谷区）
●GREEN×EXPOみどり委員会 委員
●特別市・大都市行財政制度特別委員会 委員

市来　栄美子（都筑区）
●経済港湾委員会 委員
●未来のまちづくり推進特別委員会 委員
●市会運営委員会 委員

武田　勝久（磯子区）
●市民消防委員会 委員
●基地対策特別委員会 委員